

CASBEE®広島

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)中広町一丁目マンション 新築	階数	地上10F
建設地	広島市西区中広町一丁目11-3、11	構造	RC造
用途地域	都市計画区域内(市街化区域)	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年9月 予定	評価の実施日	2018年10月4日
敷地面積	918 m ²	作成者	村田友弘
建築面積	314 m ²	確認日	2018年10月4日
延床面積	2,015 m ²	確認者	蛭子 宗夫

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 93%
③上記+②以外の 93%
④上記+ 93%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.1

音環境: 3.0, 温熱環境: 1.9, 光・視環境: 1.8, 空気質環境: 2.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

機能性: 2.4, 耐用性: 2.9, 対応性: 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

生物環境: 2.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 2.5

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

建物外皮: 1.6, 自然エネ: 3.0, 設備システ: 4.9, 効率的: 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

水資源: 3.4, 非再生材料の: 2.9, 汚染物質: 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

地球温暖化: 3.2, 地域環境: 3.1, 周辺環境: 3.0

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.1

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.3	スコア = 2.3	スコア = 3.0
設計の計画し特段に配慮した事項 // 高効率熱源機器の採用 // 節水型洋風便器・小便器の採用 / 高効率熱源機器の採用により省エネ化を図りCO ₂ の削減	設計の計画し特段に配慮した事項 / 駐車場の確保	設計の計画し特段に配慮した事項 給排水配管の2種類耐用年数C以上の採用 /

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される